

資料（２）環境教育—自然観察会—

団体名	ボランティアグループ「天山ふれあい会」	記入者氏名	井上元生
開催日	平成22年9月19日9:00～	天候	晴れ
参加者数	31人	報道等	なし
実施内容	環境教育	けが・事故等	なし

※実施状況（画像データを添付）

筑紫野市市民生活部環境保全課・九州環境管理協会よりの呼びかけ依頼に天山ふれあい会が参加した。

「筑紫野市では市内の良好な生態系を有する地域もしくは生態系保全のかなめとなる地域を“環境指標の森(仮称)”として設定し、市民の方々に、身近な環境に目を向けていただく機会を提供する取り組みを行っています。」

1. 参加者：「参加人数31人（内訳：指導者側の人数7人+2人、天山区外の人3人、天山区民19人）」
2. 行程：天山公民館→高木神社→童男男女岩→宮地岳稜線（蘆城城跡）の折り返し
3. 活動の状況（1）天山公民館での出発式、指導者及び参加者の自己紹介と諸注意

天山ふれあい会藤野会長のあいさつがあって、斎城さん、藤井さん、溝口さん、藤原さん、池松さんの自己紹介。高木神社に向かって出発。



（2）高木神社で冷川さん、渡部さんの自己紹介と冷川さんの「高木神社の由来で明治初めの廃仏毀釈以前は高木神社が「大行事社」であったことなどのお話を聞きました



（3）渡部先生から、高木神社には「むささび」の生息地であることを、ムササビが食べたクスノキの葉っぱのかじり具合から話してくれました。



今日の自然観察会のまとめを冷川先生、渡部先生からしていただきました。冷川先生のお話で『昔民家に近い場所は茅場（屋根葺きのかやをとる場所）、高いところは燃料の薪をとる雑木林として活用し保全されていた素晴らしい森であること』を学習しました。